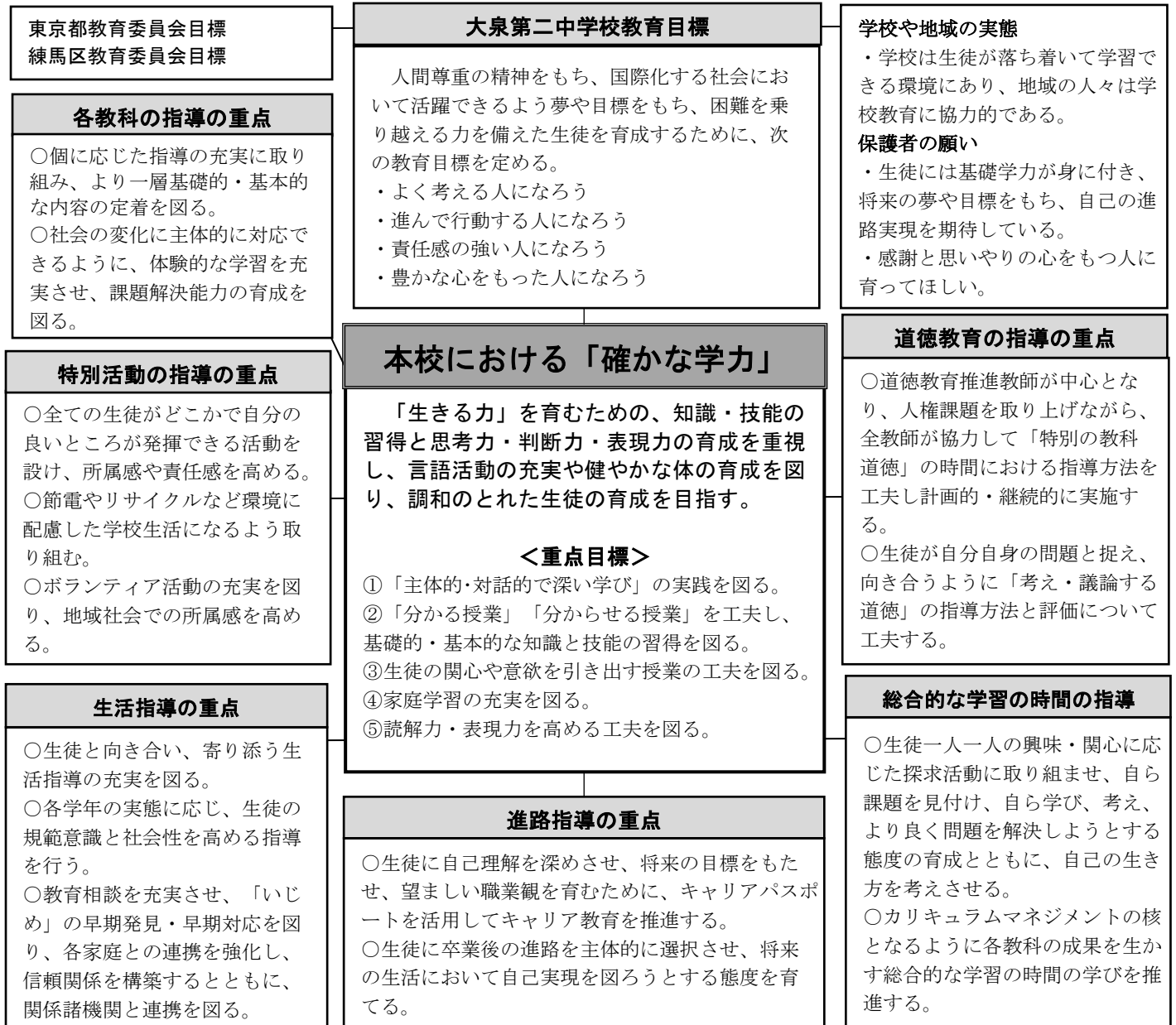


学力向上を図るための全体計画



本校の授業改善に向けた取り組み				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫および小中一貫教育の視点	評価活動の工夫	家庭や地域との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業に取り組む。 ・授業のねらいを明確に示し、「分かる授業」「分らせる授業」を工夫する。 ・ICT機器を積極的に活用し、生徒の興味や関心を引き出す授業を工夫する。 ・各単元に読解・表現する活動を入れる。 ・数学の習熟度別少人数授業の実施。 ・英語の学力向上支援講師とチームティーチングによる授業の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対応により、朝のモジュール学習、長期休業期間の縮小、第四土曜授業の開設等を実施することで授業時数の確保を図る。 ・定期考査前の補充教室や長期休業中の学力補充教室の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究授業の実践と指導と評価の一体化について研究する。 ・大泉南小学校、大泉第二小学校との連携を推進し、新学習指導要領を踏まえた課題改善カリキュラムの改訂に取り組む。 ・中学校教育研究会などを活用して指導と評価の一体化等について研修に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の授業でガイダンスを行い、評価方法について説明する。 ・授業公開のアンケートで外部の評価を授業改善に生かす。 ・学校評価のアンケート結果を基にして授業改善に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校づくりを推進する。 ・各教科で「学びのススメ」を作成し、家庭学習の方法を示す。 ・地域の力を活用して放課後の地域未来塾の充実を図る。 ・基本的な生活習慣の定着 ・学校だより、学校ホームページの内容を工夫し、大二中の魅力を発信する。